



市議会9月定例会

市長説明

市議会9月定例会が、市役所本庁舎議場で9月6日(火)から29日(木)までの24日間の会期で開催されました。初日に行われた市長説明の概要をお知らせします。

問合せ 総務課 ☎ 89・2113

◎大雨対応と被害……

8月3日、9日から13日、15日と16日の各期間に大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報などが立て続けに発表されたことから、適宜災害対策本部などを設置し、情報収集や警戒に当たるとともに、降雨や河川の増水などの状況に応じた避難指示の発令や避難所の開設などにより、市民の安全安心の確保に努めました。

いずれの大雨でも人的被害はありませんでしたが、家屋の床下浸水のほか、市道や河川、農地・農業用施設、林業用施設に被害が発生しています。

緊急を要するものは、予備費の充用や補正予算の専決処分などにより対応し、早期の復旧に努めているところであります。

◎新型コロナウイルス感染症の対応

7月以降、全国的に新規感染者数が急速に増え、本市においても、感染が急拡大し、多くの施設などでクラスターが発生しています。県では、国が新

設した「B・A・5対策強化宣言」を発出するなど、警戒を呼び掛けるとともに対策を強化し、市では、管内の感染状況や国、県の動向などを踏まえ、注意喚起を行っているところであります。

一方で、感染拡大傾向にあっても特に行動制限を求めない中、夏祭りや成人式などの各種行事を開催するなど、徐々にコロナ前の日常を取り戻しつつあります。市民の皆さんには、引き続き基本的な感染防止対策を徹底しながら、状況に応じた適切な行動をお願いします。

新型コロナウイルスの接種については、8月31日現在、3回目接種は79.3%の方が、4回目は7月22日から医療従事者および高齢者施設の従事者などが追加され、合わせて1万1718人の方が接種を終えており、今後も速やかな接種を呼び掛けていきます。

国では、オミクロン株対応ワクチン接種を予防接種法に基づく予防接種に位置づける方向で検討しており、接種

できる準備を整えるよう指示がありました。国の動向を注視するとともに、能代市山本郡医師会、関係機関などと連携をとりながら、ワクチン接種が円滑に進むよう状況に応じて適宜対応していきます。

◎第2次能代市総合計画後期基本計画……

市民アンケートや、総合計画市民協議会議における前期基本計画の検証などを踏まえ、現在、素案の策定作業を進めています。



今後、議会のご意見をお伺いするとともに、市民協議会議での検討やパブリックコメントによる意見募集などを行い、年度内の策定に向け作業を進めていきます。

◎女流本因坊戦の開催……

第41期5番勝負の第2局が10月23日に旧料亭金勇で行われることが決定しました。現在2連覇中の藤沢里菜女流本因坊と上野愛咲美女流立葵杯による注目の対局となります。

市では、対局前日の記念開基大会や前夜祭、対局当日の初手観戦や大盤解説会などを開催する実行委員会とともに対局を盛り上げてまいりたいと考えています。

◎人口政策・移住定住推進室の移転

同室を交通アクセスが良く、多くの人が集まるイオンタウン能代へ移転し、人口減少に対する施策や移住定住支援に関する情報発信と相談、サポートの充実を図ってまいりたいと考えています。

令和5年2月頃の移転を目指していますが、移転後は、市民の皆さんに加え、帰省中の本市出身者などにも気軽に情報に触れていただけるようになるメリットを最大限活用して、少子化対

策やふるさと回帰などに資する取り組みをより一層推進していきます。

●能代港港湾区域内の洋上風力発電事業……………

特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」により、風車本体の据付工事は、8月26日に20基すべてが終了し、年末までには、国内初となる本格的な洋上風力発電事業の商用運転が開始される予定であります。

市では、日本の洋上風力発電事業のフロントランナーとして、産業振興や雇用創出、地域活性化など、地域が多くのメリットを享受できるよう、引き続き、能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会を中心に取り組んでいきます。

●全国洋上風力発電市町村連絡協議会の設立……………

再エネ海域利用法に基づく促進区域に指定されている海域に隣接する6市2町により、「全国洋上風力発電市町村連絡協議会」が7月28日に設立されました。

本協議会は、着床式および浮体式の洋上風力発電ならびに波力、潮流などの新たな発電技術に関する調査研究を行うとともに、漁業と共生する水産振興を含む地域産業の振興ならびに会員相互による情報共有などを目的としています。

今後は、洋上風力発電などに関連する先端技術や先行事例を学びながら、

会員一体となって事業の円滑な普及を図り、持続可能な循環型社会の構築に寄与できるよう努めてまいりたいと考えています。

●能代次世代エネルギースクール……………

市内の学校に通う高校生を対象に、「能代次世代エネルギースクール」を7月29日に開校しました。17名から申し込みをいただき、国や民間事業者などの講師を招いて、再生可能エネルギーの総論、地域貢献などをテーマにした講義や、市内の再生可能エネルギー施設などを巡る視察研修を実施しています。



こうした取り組みなどを通じて、市民と発電事業者などとの顔の見える関係の構築を図るとともに、次代を担う若者の地元定着につなげてまいりたいと考えています。

●能代西高等学校跡地での工業団地の整備……………

新たな工業団地の整備を検討することとし、令和3年度に候補地調査を実施しました。

今年度、庁内で検討を進め、能代西高等学校跡地が最も有力な候補地とな

り、7月26日に同地の所有者である秋田県に対して整備を要望し、8月31日に知事から「前向きに検討する」との意向が示されました。

●J-クレジット制度を活用したカーボンオフセットへの取り組み……………

市では、2050年カーボンニュートラルの達成やSDGsに積極的に取り組むため、杉市有林を活用できないか検討していたところ、令和4年2月に丸紅株式会社からJ-クレジット制度活用について提案がありました。

現在、対象となる森林の要件や範囲

などの確認作業を行っており、5年度からの実施に向けて協議を進めていきます。

●能代市グラウンド・ゴルフ場……………

10月1日の供用開始に向けて準備を進めており、オープン当日は、セレモニーおよび記念大会を開催することとしています。子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方にご利用いただき、市民の皆さんの健康づくりや生きがいづくりにつながることを期待しています。

4年度9月補正予算

単位：千円

	現計予算	補正額	補正後予算
一般会計	31,161,532	1,186,768	32,348,300
特別会計			
国民健康保険	5,851,720	7,688	5,859,408
後期高齢者医療	792,450	151	792,601
介護保険	7,897,477	270,923	8,168,400

一般会計9月補正予算の主な歳出

単位：千円

財政調整基金積立金……………	526,014
移住定住環境整備事業費……………	6,210
障害福祉サービス等給付費……………	11,000
●地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金……………	15,460
介護保険特別会計繰出金……………	5,338
●過年度国庫負担金等返還金(社会福祉費関係)……………	5,291
●保育環境改善等事業費(私立保育所等)……………	5,900
●過年度国庫負担金等返還金(児童福祉費関係)……………	51,508
保育環境改善等事業費(公立保育所等)……………	2,034
新型コロナウイルス感染症対策支援事業費……………	7,748
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費……………	388,457
県産米品質向上支援事業費補助金……………	5,882
●大豆生産拡大支援事業費補助金……………	29,500
●能代市トラック運送燃料高騰対策支援事業費……………	18,080
企業誘致推進事業費……………	47,500
工業団地管理費……………	3,473
河川維持費……………	4,807
住宅リフォーム支援事業費……………	24,000
埋蔵文化財調査事業費……………	8,867
●向能代公民館改築事業費……………	6,696

(●は新規事業)